

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、町道宮田垣内出口線舗装改修工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - (1) 土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版 適用区分「広島」及び「世羅町」
  - (2) 土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版 1-1-3-1「主任技術者及び監理技術者の変更」～1-1-3-3「現場代理人及び主任技術者又は監理技術者」及び1-1-3-11 現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施※土木工事共通仕様書の適用について疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。  
※土木工事共通仕様書は、広島県の調達情報のページを参照（<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>）

### 第2節 現場代理人の兼務

- 1 受注者は、世羅町が定める「現場代理人及び主任技術者等の配置について（令和7年4月1日適用）」に定める条件を満たすときは、本件工事における現場代理人について、様式第1号に必要な書類を添付して、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。  
<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/uploaded/attachment/143324.pdf>
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は様式第2号により、承認しない場合は様式第3号に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、様式第4号により、その承認を取消すものとする。
  - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
  - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（世羅町の休日定める条例（平成16年世羅町条例第3号）第1条に規定する町の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
  - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
  - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
  - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
  - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 5 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者又は兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。  
※様式は、世羅町のサイト「入札契約」に掲載している。

### 第3節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

### 第4節 週休2日適用工事

本工事は、週休2日適用工事であり、「世羅町週休2日適用工事等実施要領」に従うこと。なお、実施要領に基づき提出する様式「休日取得計画表」等は「広島県の調達情報＞公共工事等の情報\_様式集＞建設工事関係\_その他契約関係様式」に掲載されているものを使用すること。

### 第5節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
  - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

## 第2章 施工条件

### 第1節 工程

#### 1 施工時期・時間の制限

施工内容	全工種
時期	全工事期間
時間	8：00～17：00
施工方法・理由	搬入路が通学路であるため、登下校時間は工事用車両の通行を行わないこと。

#### 2 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする）
移設期間	

### 第2節 公害対策

#### 1 公害防止

施工方法	コンクリート破砕において、民家に隣接しているため、低騒音型機械を使用するものとする。
建設機械・設備	低騒音型機械
作業時間	10時～15時

### 第3節 安全対策

#### 1 交通誘導員

交通誘導員は別添、工事数量総括表に記載した配置人員数を見込んでいるが、工区毎の配置計画について監督員と事前に協議し、協議により決定した内容については、設計変更の対象とする。

### 第4節 工事用道路

#### 1 一般道路

搬入経路	工事車両の搬入出経路については、監督員と協議により決定すること。 なお、町道宮田垣内出口線の世羅町役場入り口交差点側は道路幅員が狭小である為、通行しないこと。
使用期間	工事施工期間
使用時間	8時～17時
工事中・後の処置	随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

### 第5節 架空線の防護管

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。ただし、架空線等事故防止対策簡易ゲートに要する費用については、安全費として共通仮設費率に含んでいる。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

### 第6節 その他

#### 1 工事用機資材の仮置き

場所	世羅町役場の敷地を利用する場合、財政課と協議し行政財産利用許可申請を行うこと。
期間	財政課との協議による。
保管方法	使用範囲を立ち入り防止柵などで囲むこと。

2 工事用電力の指定  
なし

第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又はその内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。